

## 令和元年度補正予算決定！ICT整備進む！

〈 令和元年度文部科学省補正予算～ 〉

12月13日、政府は令和元年度補正予算案を閣議決定し、公表した。文部科学省関係の補正予算については、次の通りである。

令和2年度文部科学省関係補正予算案概要（全日教連要約・抜粋）



### 〈国民の安全・安心の確保、未来への投資等〉

### コンピュータ1人1台実現へ！

#### ◆GIGAスクール構想の実現

2,318億円

学校における高速大容量のネットワーク環境（校内LAN）と、義務教育段階における一人一台端末の整備について、令和5年度までの実現を目指し、まずは初年度として、整備を確実に実施する。

#### ◆学校施設等の整備

1,170億円

学校施設の防災機能強化等の整備を実施するとともに、国私立大学の設備等の整備、国立高等専門学校の機能の高度化等を進める。

⇒公立学校 606億円 私立学校 50億円 等

#### ◆認定こども園の整備

150億円

待機児童の早期解消を図るため、保育の受け皿の一助となる認定こども園の移行に係る施設整備等を強化する。

#### ◆就職氷河期世代に対する教師の正規採用への再挑戦支援

1億円

教員免許状を有するものの一度も教壇に立つことがない者等を対象に、オンライン講座の開発や、Society5.0時代の学校現場での最新の教育の実戦経験を積めるよう、授業観察・模擬授業等の講座を開講するための環境整備を行う。

### 〈災害復旧関連〉

### 災害復旧お願いします！



#### ◆被災した施設等の災害復旧

298億円

台風19号等の大規模災害により被害を受けた学校施設等の災害復旧を迅速に進める。

⇒公立学校 124億円 私立学校 48億円 公立社会教育施設 103億円 等

#### ◆被災した子供たちの教育機会確保

1,170億円

通学困難となった小・中学生に対するスクールバス等の通学支援や被災した学生への授業料減免等の支援を実施する。

※ 補正予算案の詳細については、右QRコードか下のURLより御確認ください

[https://www.mext.go.jp/content/20191213-mxt\\_kaikesou01-100003387\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20191213-mxt_kaikesou01-100003387_1.pdf)



この文部科学省補正予算案で特筆すべき点は、「GIGAスクール構想の実現」のための「高速大容量のネットワーク環境（校内LAN）の整備」と「1人1台の端末の整備」である。この補正予算をスタートとして、全国の小中学校にコンピュータが整備されるとともに、各教室が校内LANでつながり、普段の授業で活用することができるようになることが期待される。これは、これまで地財措置だったことにより、「教育のICT化に向けた環境整備五か年計画」等が進まず、地域間格差が大きかった実態を踏まえ、国が責任を持って整備を行う方針に転換したことを意味するものであり、西村康稔内閣府特命担当大臣（経済財政政策）も「国内の機会均等とか格差は正あるいは国際競争力強化、こういった観点から学校のICT化は急務だと考えており、（中略）これからのSociety5.0時代を担っていく、そうした人材の教育、育成にふさわしい環境整備を速やかに整えるべく、経済対策の中では是非実現したい」と述べている。

全日教連はこれまで、学校ICT環境の整備及び地財措置による教育格差の解消を強く訴えてきており、校内LAN及びコンピュータの整備が大きく前進することは、全日教連の要望の大きな成果である。

今後、さらなる要望として、教師一人一人に対してもコンピュータを貸与することや、定期的なICT機器の保守管理、更新に係る費用等の予算確保を求めて行く方針である。また端末やネットワークに関わる諸整備に加え、デジタル教科書や学習指導のためのアプリ等、ソフト面の充実についても、現場の意見を参考にしながら、要望していく。